

GDPR 認定国としての グローバル内部通報制度の運用上の留意点

~ 実例を交えて解説 ~

《開催要領》

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

2019年4月17日(水)13:00~17:00

企業研究会セミナールーム(東京:麹町5丁目)

《ご参加頂きたい方》

内部通報制度の運用実務に携わる担当者

(株)ディークエスト

㈱ディークエスト

生銀行、コンプライアンスオフィサーでの経験を生かし、研修 や内部統制業務や相談業務に従事した。2016 年、ヘルプライン 事業部事業ジェネラルマネージャーに就任. 相談・内部通報窓口 美務管理、顧客テクニカルサポート、内部通報に関わる専 材育成に携わるトレーナーとして活躍中。

画・講師を務め、医療機関向けのコンサルティング業務に従事。 現在は、ディークエストにて、ヘルプライン部部長として、国

《申込方法》当会ホームページ(https://www.bri.or.jp)からお申し込み下さい。

■受講料: 1名(

税込•資料代含

(申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用方法(O発信の有無など)を ご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

34.560円 (本体価格 32.000円)

— AG

37.800円 (本体価格 35,000円)

《事業コード:		191154-0303 》 GDPR 認定国としてのグローバル内部通報制度の運用上の留意点							
ふりがな 会社名									
住 所	₹								
TEL						FAX			
ふりがな ご 氏名							所役	属職	
E-mail							•		

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させて頂きます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛 E-mail からもお申込み頂けます。 後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会 HP にてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問]) ※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail:tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102 - 0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR 麹町ビル 2 F

・・・・・・・プログラム・・・・・・・

1. EU一般データ保護規則の最新動向

- (1) 指令から一般データ保護規則(GDPR)へ
- (2) データ処理の要件と個人データの移転の論点(制裁金の基準)
- (3)標準的契約条項(Standard contractual clauses: SCC)と Processing Agreement: DPA
- (4) 最近のEUデータ保護規則の第29条作業部会のガイドラインの説明
- (5) 認定国の特権とその対応方法

2. 実務における海外子会社管理のためのグローバル・コンプライアンスと内部涌報制度

- (1) 海外子会社等管理に関する留意点
- (2) グローバル・コンプライアンスと内部通報制度の位置付け
- (3) 内部通報制度が有効活用された場合に発揮する機能

3. グローバル内部通報制度の現状と課題

- (1) グローバル内部通報制度の運用状況に関する自主点検事項と運用上の有効性
- (2) 実例を基にした海外子会社等で発生した不祥事・不正と 事業展開に伴うリスクの分類とチェック事項

4. グローバル内部通報制度の導入における法的留意点

- (1) グローバル内部通報制度の導入に際しての留意点
- (2) グローバル内部通報制度の運用に際しての留意点

5. グローバル内部通報の事例紹介

- (1) グローバル内部通報制度の導入の事例3つのパターン分析と 実例紹介運用方式の説明と安全性の確保導入の問題点(実際に起きたことを説明)
- (2) グローバル内部涌報制度の運用の事例海外からの涌報実績件数と
 - 一般的な運用上の問題点海外通報によって未然に防ぐことのできた事例

※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

裏面もご覧下さい!